

「国引き神話」を
裏付ける地へ

味わってみたい・触れてみたい

山陰のとておき

地上を見おろす空中散歩へ



出雲松島

日御碕灯台近くに広がる美しい海岸風景は、眼下に浮かぶ大小20余りの島々を総称して『出雲松島』。いずれも流紋岩の島で、激しい波の浸食作用や海面の昇降運動によって美しい形に仕上げられ、中には海食洞が発達した島も。岩礁域にはホンダワラ類、アラメ・クロメなどが着生し、素晴らしい海中林を形成しています。

グッとくる山陰

2016 Summer 夏

ご自由にお持ち帰りください

三瓶山高原
さんべさん
高低差255m
圧巻の三瓶観光リフト



三瓶山の東の原にある全長860mのペアリフトは、海拔580mの地点から、255mの高低差を約10分かけて山頂に向かう観光リフト。眼下に広がる雄大な自然を満喫しながら進む空中散歩は、どんなストレスも解消してくれる爽快感。頂上には太平山休憩所があり、室の内の絶景を眺めることができます。さらに、リフトから少しだけ山道を登ると、男三瓶、女三瓶、子三瓶、孫三瓶など、三瓶山の全体を見渡せる展望台へ。澄んだ空気と絶景が、猛暑だって吹き飛ばしてくれるはずです。



鳥取県大田市三瓶町志学1640-2
アクセス/JR大田市駅から車で40分
問い合わせ先/一般社団法人 大田市観光協会
電話/0854-88-9950



鳥取県西伯郡伯耆町大内桟水高原1069-50
アクセス/JR岸本駅から車で25分
問い合わせ先/桟水フィールドステーション観光案内所
電話/0859-52-2420



グッとくる山陰 夏号

発行元/JR西日本米子支社 鳥取県米子市弥生町2
0859-32-0255 *記載の情報は、2016年6月1日時点のものです。



山陰の隠れたお宝情報が満載!!
山陰いいもの 検索 右記QRコードからサイトへGO!



地上を見おろす空中散歩へ

桟水高原

天空リフトで辿り着く
そこは恋人の聖地

大山西側の裾野に位置する爽やかな高原。なだらかな丘陵が続き、ヴィンタースポーツはもちろん、四季折々に美しい自然と触れあえるスポットです。夏から秋にかけて人気なのは、スキーりフトから天空リフトにモデルチェンジした、片道約7分・標高約900mの空中散歩。辿り着いた展望台からの眺めは、日本海、弓ヶ浜半島、島根半島、良く晴れた日には隱岐島までも望する大パノラマ。そのロマンチックな風景がプロポーズにふさわしいとして、2010年“恋人の聖地”に選ばれています。

大山西側の裾野に位置する爽やかな高原。なだらかな丘陵が続き、ヴィンタースポーツはもちろん、四季折々に美しい自然と触れあえるスポットです。夏から秋にかけて人気なのは、スキーりフトから天空リフトにモデルチェンジした、片道約7分・標高約900mの空中散歩。辿り着いた展望台からの眺めは、日本海、弓ヶ浜半島、島根半島、良く晴れた日には隱岐島までも望する大パノラマ。そのロマンチックな風景がプロポーズにふさわしいとして、2010年“恋人の聖地”に選ばれています。

裏付ける地へ

1番最初は、朝鮮半島の新羅の岬を引っ張って、八穂米支豆支の御埼（現在の出雲市小津浦（島根半島西端）が出来ました。このとき、引き寄せた土地をつなぎ止めるために立てた杭が現在の三瓶山に、引き綱が蘭の長浜になりました。次いで2番目に出来たのは、狹田の国（現在の松江市鹿島町西部～出雲市小津）。3番目には、閻見の国（現在の松江市手角町～同市鹿島町東部）。そして最後に、石川県能登半島から土地を引き、三穂の埼（現在の松江市美保関町～同市手角町）が完成。このときの杭が現在の大山となり、引き綱が弓ヶ浜半島になっています。こうして命は、仕事を完了したときに発する語「意恵（終え）」のお言葉で、国引きという一大事業を完遂されたのでした。

解釈『国引き神話』

奈良時代の天平5年（733）に完成した『出雲國風土記』は、全国に現存するわずか5カ国（他に常陸の国・播磨の国・肥前の国・豊後の国）の風土記のうちで唯一、完全な形で伝わる地誌といわれています。

『国引き神話』は、この出雲國風土記の冒頭に記される壮大な物語。主人公である八束水臣津野命は、今よりも小さかつた出雲の国を見て「足りないところを他所から引いて、つなぎ合わせよう」とお考えになりました。そして、三つ編みにした頑丈な綱をかけ「国來、國來」と言つて、計4つの土地を引き寄せられたのです。

1番最初は、朝鮮半島の新羅の岬を引っ張って、八穂米支豆支の御埼（現在の出雲市小津浦（島根半島西端）が出来ました。このとき、引き寄せた土地をつなぎ止めるために立てた杭が現在の三瓶山に、引き綱が蘭の長浜になりました。次いで2番目に出来たのは、狹田の国（現在の松江市鹿島町西部～出雲市小津）。3番目には、閻見の国（現在の松江市手角町～同市鹿島町東部）。そして最後に、石川県能登半島から土地を引き、三穂の埼（現在の松江市美保関町～同市手角町）が完成。このときの杭が現在の大山となり、引き綱が弓ヶ浜半島になっています。こうして命は、仕事を完了したときに発する語「意恵（終え）」のお言葉で、国引きという一大事業を完遂されたのでした。



駅レンタカー営業所のある駅

<http://www.ekiren.com>

観光・ビジネスに便利。駅から徒歩圏内。

山陰にお越しの際は、駅レンタカーのご利用をお待ちしております。

【グッとくる山陰提示で基本料金の20%割引いたします。(Sクラス限定)】

○米子営業所 TEL:0853-34-1140 ○出雲市営業所 TEL:0853-21-8193

○松江営業所 TEL:0852-23-8880 ○西日本予約センター TEL:0088-24-4190

※4月27日～5月6日、8月11日～20日、12月28日～1月6日は割引対象外

※Sクラス以外のクラスは割引対象外。※台数に限りがございます。

※ご利用・ご予約の際は「グッとくる山陰プラン」とお伝えください。

神話などとおとぎ話のように思われがちですが、

とりわけ、山陰地方に伝わる『国引き神話』は、知れば知るほど、絵空事とは思えなくなつてきます。

弓ヶ浜半島がまだ姿形もなく、

島根半島が離島だった7000年前まで遡つて、

地質学の視点から見て行くと、

山陰地方は、神話を史実と裏付けるような地形を形成。

ちょっと想像力を働かせてみると、

国引き神話の世界が鮮やかに動き出します。

さんべさん
三瓶山から眺める
出雲平野

三瓶山は女三瓶から、眼下に見晴らす出雲平野。国引き神話の中で、引き寄せた土地を始めた杭が三瓶山となり、引き綱が蘭の長浜。現在の大社町稻佐の浜から出雲市長浜にかけて、美しい弧を描く海岸砂丘となっています。

地質と歴史で 繙いてみる



【出雲国風土記】日御碕神社蔵

奈良時代、『出雲国風土記』を編纂した人々は、7000年前のことなどを知る術はなかったはず。地質学が誕生したといわれるのが18世紀末で、風土記が書かれた1000年以上も後のことなのですから。山陰の地形は、国引き神話が伝えるように形成され、引っ張られた土地と島根半島との密接な関係を裏付けるような事柄も浮かび上がっています。

まずは、朝鮮半島から引かれて出来た八穂米支豆支の御埼、現在の日御碕エリアです。奇岩や絶壁などダイナミックな海岸線が広がるこの風景、韓国・浦項市の迎日湾にそつくりではありませんか。

次いで、イギリス人文学者・小泉八雲（1850～1940）は、著書『神々の国の首都』の中でこう書いています。「御津浦は、佐伎の国」の余りを引っ張った狭田の国、加賀の潜戸は、良波の国“の余りを引っ張った閻見の国。



【出雲】日御碕 【韓国】迎日湾

日御碕灯台
島根県出雲市大社町日御碕1478
アクセス/JR出雲市駅からバスで45分
問い合わせ先/出雲観光協会
電話/0853-53-5856

島根半島の最南端に位置する景勝地。足元は柱状の奇岩が連なる断崖絶壁で、明治36年(1903)に設置された白亜の灯台が美しい。その高さ43.65mは日本一を誇り、「世界の歴史的灯台百選」・「国の登録有形文化財」に選ばれています。遊歩道から眺める「出雲松島」と呼ばれる絶景は、韓国の大邱市に広がる迎日湾によく似ており、国引き神話をフィクションでは終わらせない説得力のある場所です。



島根大学教授
ぐにびきジオパーク・プロジェクト長
理学博士

野村 律夫

島根県米子市在住。昭和57年東北大大学院理学研究科修了。
島根大学ぐにびきジオパーク・プロジェクトセンター長として、
島根半島や宍道湖・中海地域のジオパーク構想に取り組んでいます。
今回の国引き神話特集についてご協力いただきました。



元の土地は、共に明確な決め手はないままでですが、朝鮮やロシアではないかとも考えられるのだそうです。

ラストは、能登半島から引かれた三穂の埼、現在の美保関エリア。能登半島の先端に、須須神社の奥宮が祀られているのをご存じでしょうか。ご祭神は、大国主命のご令嬢である美穗須須美命。実は美保関で最も古い社”地主社“の主祭神もこの女神様なのです。

これらは『国引き神話』にまつわるほんの一端。さらに掘り下げていけば、とてもなく壮大なストーリーが展開します。先頃、『国引き神話の大河』を日本ジオパークに登録しようと、4月から「ぐにびきジオパーク推進協議会」も発足しました。ぐにびきジオパークの誕生に期待が膨らむのです。



